

- 問1 1825年に出された異国船打払令から、1854年の日米和親条約締結に至るまでの期間に、清（中国）で発生した出来事について説明したものと
して正しいものはどれか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 清の内部で洪秀全が「太平天国」を建国し、大規模な反乱が起きた。
 2. 朝鮮半島の支配権をめぐって日本と清の間で戦争が起き、日本が勝利した。
 3. 清の排外主義的な団体が北京の公使館を包囲し、連合軍に鎮圧された。
 4. アヘンの密輸問題をめぐってイギリスと清の間で戦争が起き、清が敗れた。
- 問2 1861年から始まったアメリカの南北戦争の最中、ゲティスバーグでの演説において「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を述べ、民主主義の原点を示した大統領は誰ですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
1. ジョージ・ワシントン
 2. トマス・ジェファソン
 3. フランクリン・ルーズベルト
 4. リンカン
- 問3 1825年から1856年までの外交上の出来事をまとめた年表において、1842年に幕府が「薪水給与令」を出して外交方針を和らげた背景として、最も適切な事実はどれですか。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. イギリスがアヘン戦争で清を破ったニュースが日本に伝わったこと
 2. アメリカのペリーが浦賀に来航し、開国を強く求めたこと
 3. 生麦事件が発生し、イギリスとの間で軍事的な緊張が高まったこと
 4. 日清戦争で日本が清に勝利し、下関条約が結ばれたこと
- 問4 江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が「大政奉還」を行った背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福井県公立入試 類似）
1. 欧米列強との不平等条約を改正するために、幕府の権限をすべて天皇に譲渡して責任を回避しようとした。
 2. 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。
 3. 全国の藩主に対して土地と人民を天皇に返還させ、天皇が全国を直接統治する仕組みを整えるために行った。
 4. 関白や摂政といった古い役職を廃止し、総裁・議定・参与の三職を置く新たな政府を樹立することを目的とした。
- 問5 イギリスが清に対してアヘン戦争を仕掛ける背景となった、当時の貿易状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 清がイギリスから綿織物を大量に輸入したため、貿易赤字に苦しんだイギリスが武力で市場を広げようとした。
 2. イギリスが自国の工業製品を清に売るため、清の特産品であったアヘンの輸入を禁止しようとした。
 3. 清がイギリスとの自由貿易を求めて開国を迫ったのに対し、自国産業を保護したいイギリスが拒否して開戦した。
 4. イギリスが輸入する茶の代金として支払う銀が不足し、その回収のためにアヘンを密輸した。
- 問6 1858年、徳川幕府の老老が天皇の許し（勅許）を得ないままアメリカと結び、横浜を含む5つの港を開くことを決めた条約の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. 日米修好通商条約
 2. 日米和親条約
 3. 日米安全保障条約
 4. 下関条約
- 問7 19世紀半ば、イギリスが清との貿易における赤字を解消するためにアヘンを密輸し、これを取り締まろうとした清に対してイギリスが軍事攻撃を仕掛けたことで始まった戦争は何か、選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）
1. 義和団事件
 2. 太平天国の乱
 3. 辛亥革命
 4. アヘン戦争
- 問8 イギリスとインドの歴史的経緯をまとめた記録において、18世紀から19世紀にかけて、インドからイギリスへ綿織物を輸出する形から、逆にイギリスからインドへ綿製品が大量に流入する形へと貿易構造が変化しました。この変化をもたらした最大の要因として正しい説明を選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）
1. 東インド会社がインド全域での棉花栽培を中止し、食料増産を優先させたため。
 2. フランスとの植民地抗争に勝利したイギリスが、インドの全港を封鎖したため。
 3. インド大反乱の結果、イギリス政府がインドでの綿織物生産を法律で禁止したため。
 4. イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。
- 問9 産業革命期に成立した「工場制機械工業」と、それに伴う人口の動きについて正しく述べたものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 機械化により労働力が必要なくなったため、人々は仕事を求めて都市から離れ、全国各地の農村へ分散して定住するようになった。
 2. 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。
 3. 工場での生産が衰退した代わりに、自宅で製品を加工する家内工業が中心的な産業となり、都市の人口は減少に転じた。
 4. 手作業を中心とする工場に多くの労働者が集まって分業を行う形態が普及し、農村部での人口増加が顕著になった。
- 問10 開国後の貿易において、日本に大量に輸入された安価な工業製品によって、当時の日本の国内産業が大きな打撃を受けた事例として正しいものはどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. アメリカから安価な麦が輸入され、日本の米作農家が転作を余儀なくされた。
 2. イギリスなどから安価な綿織物が輸入され、日本の伝統的な綿織物業が衰退した。
 3. オランダから安価な鉄砲が輸入され、国内の刀鍛冶が職を失った。
 4. 清（中国）から安価な生糸が輸入され、日本の養蚕業が壊滅的な被害を受けた。
- 問11 幕末の1850年代後半、江戸幕府が欧米諸国と通商条約を結んで開国を進めた際、これに反対する勢力の間で高まった政治思想と、その背景にある当時の社会状況について述べたものとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 公武合体運動：元禄文化の成熟による町人の台頭を背景に、天皇と幕府が協力して欧米諸国との不平等条約を改正しようとした。
 2. 自由民権運動：士族の反乱が終結した後の社会情勢を背景に、藩閥政治を批判し、国民の権利を守るための議会開設を求めた。
 3. 尊王攘夷運動：勅許を得ない条約締結への反発や、開港に伴う物価高騰による社会不安を背景に、天皇を尊び外国勢力を排除しようとした。
 4. 文明開化：産業革命による生産技術の向上を背景に、西洋の進んだ制度や文化を取り入れ、幕府の権威を近代化しようとした。
- 問12 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 薩長同盟
 2. 日米和親条約
 3. 日英同盟
 4. 尊王攘夷運動
- 問13 幕末に「世直し」を求める民衆の動きが活発化した背景として、当時の社会状況を最も適切に説明しているものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 開国にともなう貿易の開始によって物価が急騰し、人々の生活が困窮して社会への不満が高まったため。
 2. 鎖国が強化されたことで外国製品が手に入らなくなり、国内の産業が衰退して失業者が増えたため。
 3. 明治政府による徴兵令や地租改正に反対し、江戸時代の身分制度を維持しようとする動きが強まったため。
 4. 産業革命が進行した結果、都市部に労働者が集中し、労働環境の改善を求める運動が全国に広がったため。